

令和元年度西部地区家畜・家きん防疫対応訓練実施要領

令和元年10月31日

1 目的

鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の国内での流行時期を迎え、加えて他県では昨年からは豚コレラが継続発生しており今後県内への侵入も懸念されている。そこで鳥取県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策マニュアル及び鳥取県豚コレラ防疫対策マニュアルに定められている現地での防疫措置対応が適切かつ迅速に実施できるよう、関係マニュアル等を基にした対応手順及び関係者の役割について確認する。

2 開催日時

令和元年11月26日（火）午後1時30分から午後4時30分

3 開催場所

西部総合事務所 講堂

4 参加機関（予定）

西部地区市町村、鳥取西部農業協同組合、鳥取県農業共済組合西部支所、（一社）鳥取県西部建設業協会、（一社）鳥取県日野建設業協会、米子警察署、黒坂警察署、中国四国農政局、陸上自衛隊第8普通科連隊、（一社）鳥取県トラック協会、（一社）日本建設機械レンタル協会中国支部、（株）鳥取県食肉センター、西部家畜保健衛生所、西部総合事務所、日野振興センター、鳥取家畜保健衛生所、倉吉家畜保健衛生所、食肉衛生検査所

5 訓練内容

（1）高病原性鳥インフルエンザ及び豚コレラの総論（第一部：13時30分～14時30分）

- ・それぞれの病気の特徴、国内外の発生状況、発生から防疫作業までの流れ
- ・豚コレラ発生時を想定した消毒・防疫作業の実際と現地の役割解説。豚の殺処分方法とその流れ等のビデオ、DVD視聴。

（2）防疫服着脱及び豚コレラ発生農場内殺処分訓練（第二部：14時30分～16時30分）

- ・A、B、C、D4班が次の訓練を行う。（1班あたり10人）
- ・実際の豚コレラ発生時を想定し、集合施設へ集合し問診後、発生農場等で使用する防疫服を着衣し、バスで発生農場に移動する。（バスでの移動は模擬）
- ・農場では、模擬豚を使用して豚房からの追い出し、殺処分、殺処分後の豚の牽引作業を行う。最後にダーティゾーンで脱衣してバスで集合施設にもどるまでの一連の演習を行う。

※4班の内A、B2班は、着衣後バスで発生農場に移動して殺処分に入る。C、D2班は発生農場で使用する防疫服の着衣のみ行う。防疫服の脱衣は、殺処分が終了してから、4班が一斉に実施する。）

（条件設定）

- ・県内最大規模の農場で豚コレラが発生。
- ・発生農場での豚房からの追い出し、殺処分、出荷台までの牽引の一連の殺処分行程を模擬豚を用いて訓練する。模擬豚はその重さを実重量に近いものとし本番の作業人数で体験してもらう。

（3）課題検討・アンケート結果等から検証しマニュアルに反映（後日）